


各ワークショップの振り返り

WS① ゼロカーボン・キャンパス

- 
1. 大学の環境取り組み
  2. 企業・地域にどう呼びかけ促すか
  3. 人材育成

WS③ イノベーション(テクノロジーは大学が生まれる)



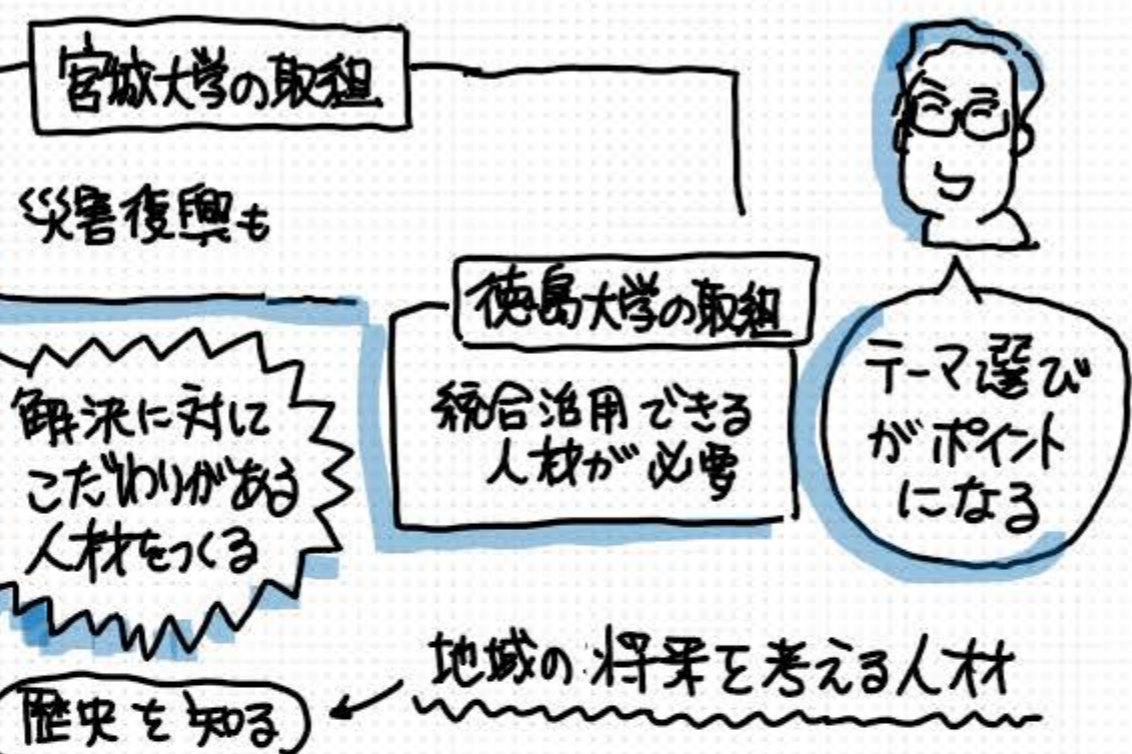
地域の魅力作り  
どう活用していくか

イノベーションハブ ⇒ 組織をつくる

シーズ・ニーズを見つける

- 面と背の変化 ⇄ 産学官金連携
- 中長期的に考える ⇒ バックキャストする  
大学としてのつなごう力を使う
- イノベーション ⇒ 異質なものを縫いでいく  
 ▶ 応用 × サイエンス  
 ▶ STEAM, 3-T思考を活用する  
 } 計算が重要
- 『場』となる... イノベーションを産むサードプレイス

WS④ 人材育成(地域ならではの特色を持った人材を育成する)



WS② 地域ゼロカーボン(地域社会のトランジションに大学が関わる)

津田 永徳さんの建築



長野県全体のゼロカーボン化

薪ストーブの調査  
(学生が目視で行う)

専門領域を越えた連携

- 日本でも頑張っている例もある!
- 古えからやっていたことを重ねる。

総括



活発な意見交換があった。  
質問には答えられず...

地元の場合のメリット

小さくはじめられる  
プロセス全体を見るこができる

大学ならではの  
メリットを  
出していかす

地域のイノベーションにつなげていく

閉会のあけっ

信州大学長  
中村操郎



VUCAの時代  
地方大学に求め  
られていることは大きく重要  
シナジーにより社会変革は可能  
しかし 行動変容は困難

文科省

バタフェーチャー → ここにも対応する

国立大学は頻死状態

日本の大学の規模は米国に比較し低い

ESG債券(サステナブルボンド)も現在検討中

イノベーション ⇄ サイエンス × アート

↓  
果敢に立ち向かう。